

令和元年度 第1回総合戦略推進会議 議事概要

1 日 時 令和元年8月28日(水) 午前10時～12時10分

2 場 所 大仙市役所大曲庁舎 3階 第1委員会室

3 出席者 <推進会議委員>

挽野 実之	笠原 基嗣	小笠原 恵子	工藤 浩一
鈴木 三郎	元吉 峯夫	鈴木 直樹	島村 和彦
岩佐 真	若林 信光	小原 庸補	佐藤 一
佐渡 敏夫	鈴木 幸一	武藤 利雄	水谷 英明
相場 勝也	佐藤 和則	福原 尚虎	舘岡 新
大野 司			

※敬称略

<大仙市>

大仙市長 老松 博行

<事務局>

加賀 貢規(総合政策課長) 新田 雅昭(総合政策課主幹)

小笠原 潤(総合政策課主査) 川越 裕(観光課主幹)

高橋 信(教育委員会スポーツ振興課主幹)

4 次 第

1) 開会

2) 委嘱状交付

3) 市長あいさつ

4) 議事 (1) 会長及び副会長選出

会長：挽野委員、副会長：鈴木三郎委員

(2) 案件 ①総合戦略の数値目標及びK P Iの検証について

②地方創生推進交付金事業等の実施状況について

○「『大曲の花火』ブランドによる農林資源活用新事業プロジェクト～花火産業振興と森林再生～」事業実績

○「成長的農作物を活用した発酵食 I B U R I プロジェクト」事業実績

○野球を通じた交流人口拡大プロジェクト」事業実績

③大仙市の人口動向について

④第2期大仙市総合戦略策定方針

(3) その他(次回会議開催予定)

5) 閉会

5 質疑及び意見等

1) 案件①、④

島村委員：大仙市企業連絡協議会の会員 50 数社に共通する課題は、人材の確保であり、各社がそれぞれ努力しているところ。総合戦略の目標の一つである「住みよいまち、心豊かに暮らせる地域づくり」に対しては、企業として協力できる部分があると考えており、どのようなことができるか、会員企業と話し合いたいと思ったところである。

小原委員：建設業界はじり貧の状況であるが、2 年前の大雨災害に伴う復旧事業により工事発注件数が激増したことで、現状はミニバブルのような状況にある。一方で人手や機械設備が不足しており、工事の進捗等でご迷惑をお掛けしている。概ね施工の目途がついてきたので、令和 2 年度中には収まるだろうと考えている。

業界では、令和 2 年 4 月以降の災害復旧事業が終了した後、工事件数は大幅に減少することが見込まれるため、無理して人材確保や設備投資を行うことはやめておこうとの共通理解がある。

災害復旧事業に関連して、2 年間で約 300 億円程の工事が発注され、利益もそれなりに出ているところであるが、今後、業界としては県外で工事を受注するなど、外から稼ぐことができないか考えているところ。

佐藤委員：米問題の影響から、J A の経営は伸長から縮小の方針に転換している状況。そのような中でも、農業に関わる新規事業については継続してまいりたい。また、総合戦略の農業に関わる部分については、栽培、販売の面で協力していきたいと考えており、J A としても勉強してまいりたい。

目標指標、K P I のうち③と評価された取組については、評価を踏まえて第 2 期戦略に登載するかなどの判断をすることになると思うが、どのように取り扱う予定か。

事務局：評価が③「最終年度中の目標達成が困難」とされた取組については、本日の会議における委員の皆さんからの意見を踏まえつつ、基本目標に対する貢献度や有効性等を考慮し、第 2 期戦略に登載するか判断する。また、③に分類されたから、または第 2 期戦略に登載されなかったからといって取組を終了するものではなく、市の政策に必要な取組であると思われるものは、引き続き推進していく。

2) 案件② 意見なし

3) 案件③ 意見なし